

都市再生整備計画 事後評価シート

高向地区

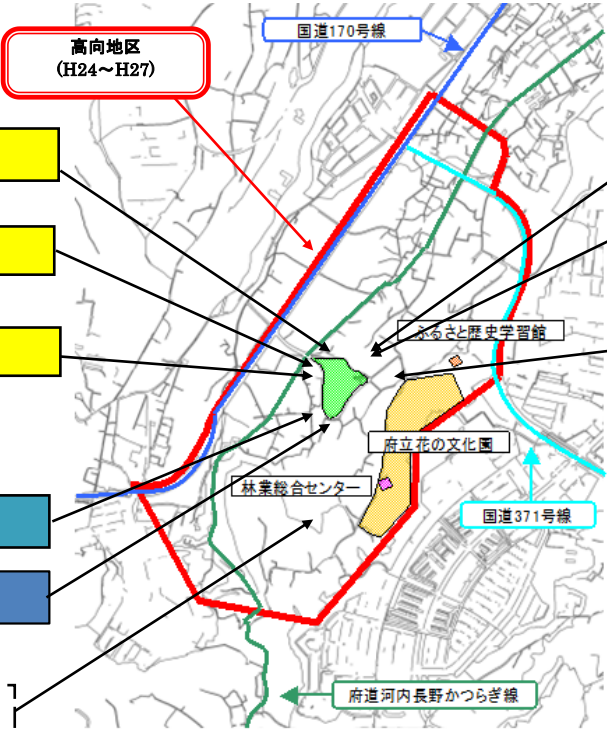
平成29年3月

大阪府河内長野市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	大阪府	市町村名	河内長野市	地区名	高向地区			面積	90ha				
交付期間	平成24年度～平成27年度	事後評価実施時期	平成28年度	交付対象事業費	317百万円	国費率	0.4						
1) 事業の実施状況	事業名												
	当初計画に 位置づけ、 実施した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(広場、情報板)、高次都市施設(観光交流センター)										
		提案事業	観光振興づくり事業										
	当初計画 から 削除した 事業	基幹事業	なし		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
		提案事業	観光振興づくり事業		観光振興づくり事業:観光振興にかかるソフト事業を市単独で実施したため削除			影響なし					
	新たに追加し た事業	基幹事業	なし		-			-					
		提案事業	地産地消推進施設整備事業、雨水貯留槽整備事業		基幹事業整備に伴う河川への雨水流入量増加対策として貯留槽の整備をおこなった。また直売所を併設する環境を活かし地産メニューを提供する推進施設を整備した。			地産地消推進施設の整備が当初の予定より遅れたため、地区への来訪者数に影響があった。					
	交付期間 の変更	当 初	平成24年度～平成26年度	交付期間の変更による事業、 指標、数値目標への影響	事業完了の遅れにより、地区への来訪者数、観光に対する満足度に影響があった。								
変 更	平成24年度～平成27年度												
2) 都市再生整備計画 に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況	指 標		単位	従前値	目標値		数 値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度	目標年度		モニタリング	評価値	達成度	達成見込み			
	指標1	当地区の集客数	人／年	150,000.0	H23	690,000.0	H27	—	550,800.0	△	あり なし	今まで周辺施設の駐車場であった場所に新たな交流拠点施設が整備されたことにより、地区の集客数は目標値には到達していないが、従前に比べ大幅に増加した。	平成29年10月頃
	指標2	販売農家数	戸	294	H23	340	H27	—	339	○	あり なし	拠点施設に農産物直売所が併設されたことで、直売所に出荷する販売農家が増加した。	平成29年10月頃
	指標3	観光に対する満足度	%	6.7	H23	10	H27	—	5.1	×	あり なし	観光事業に対して満足していると答えた数は減少しているが、一方で不満と回答した数も減少し普通と回答した数が増加した。	平成29年10月頃
	指標4									あり なし			
	指標5									あり なし			
3) その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	指 標		単位	従前値	目標値		数 値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度	目標年度		モニタリング	評価値	達成度	達成見込み			
	その他の数値指標1	—											
	その他の数値指標2	—											
その他の数値指標3	—												
4) 定性的な効果 発現状況													
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況			今後の対応方針等						
	モニタリング	—		都市再生整備計画に記載し、実施できた									
	住民参加 プロセス	—		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した									
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
持続的なまちづくり 体制の構築			都市再生整備計画に記載し、実施できた										
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した										
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										

様式2-2 地区の概要

高向地区(大阪府河内長野市) 都市再生整備計画事業の成果概要						
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
本市の豊かな自然環境と貴重な歴史・文化資源を活かしたにぎわいある癒しの空間の創出 目標1:様々な人々が集まり、楽しめる交流拠点づくり 目標2:地域資源を活かした産業振興拠点づくり 目標3:観光資源(奥河内)を活用した拠点づくり		当地区の集客数	単位:人/年	150,000	H23	690,000 H27
		販売農家数	単位:戸	294	H23	340 H27
		観光に対する満足度	単位:%	6.7	H21	10 H27
			単位:		H	H
			単位:		H	H
広場整備事業						
観光交流センター整備事業						
情報板整備事業						
■基幹事業 (広場整備事業)						
■基幹事業 (観光交流センター整備事業)						
■基幹事業 (情報板整備事業)	□提案事業 (雨水貯留槽整備事業)	□提案事業 (地産地消推進施設整備事業)	○関連事業 (農村振興総合整備事業)	○関連事業 (道路休憩施設整備事業)	○関連事業 (農産物直売所整備事業)	■基幹事業 (広場整備事業)
地産地消推進施設整備事業		雨水貯留槽整備事業				
まちの課題の変化		・新たな拠点で整備されたことで、エリア内の各施設が相互連携したイベントなどに取り組みエリア全体で魅力発信していく体制が整った。 ・地産地消推進施設や併設された農産物直売所ができることにより販売農家が増加した。また、遊休農地解消のモデルケースとして収穫体験農園の取り組みがスタートした。				
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)		・さらなるエリア全体の魅力の発信に向けて、各施設の特性を活かした体験型観光の取り組みを推進するとともに、地区の魅力のPRなどの情報発信を行う。 ・さらなる営農指導を実施することで販売農家の増加を図り、農産物直売所の充実や地産地消の推進を加速化させる。 ・市内事業者との連携をより一層深め、オリジナル商品の開発など産業振興拠点としての充実を図る。				